-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、循環器内科では、本学で保管している診療情報と、仙台循環器病センター及び米国カリフォルニア大学サンフランシスコ校 循環器内科から提供を受けた診療情報を利用して、下記の共同研究を実施しています。

この共同研究の詳細をお知りになりたい方は、下記の本学での研究内容の問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。尚、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対して利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本学での問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名]

心房性期外収縮が惹起する心房心筋症の病態解明と心房細動予防への応用に関する国際共同研究

[共同研究の研究代表機関及び研究代表者]

東京女子医科大学　循環器内科 先進電気的心臓制御研究部門　寄附部門講師　樋口　諭

[利用・提供の対象となる方]

以下の3施設において孤発性かつ頻発性の心房性期外収縮（PAC）または心房細動（発作性あるいは持続性）に対して、2020年4月から2025年3月の期間に外来通院または初回のカテーテル心筋焼灼術（アブレーション）を受けた、18歳以上85歳以下の成人患者とする。

・東京女子医科大学病院（日本）仙台循環器病センター（日本）University of California, San Francisco（米国）

[利用・提供している診療情報等の項目]

年齢、性別、Body Mass Index、既往歴：糖尿病、高血圧、脳梗塞、既知の心疾患の有無、心電図検査、血液検査、心エコー検査、心臓カテーテル検査中の血行動態、電気生理学的検査

[利用・提供の目的]　（遺伝子解析研究： 無 ）

心房内における構造的および電気的リモデリングの程度を定量的に評価する。具体的には、左心房の容積・機能（ストレイン解析）、有効不応期、電位波高、伝導速度、不均一性指標などを用いる。

[研究実施期間および主な提供方法]

期間：倫理審査委員会承認後より 2030 年 7 月までの間（予定）

提供方法：□直接手渡し □郵送・宅配 ■電子的配信 □その他（　　）

個人情報保護のための措置：匿名化、アクセス制限、定期的な監査などを徹底する。

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学　理事長　清水　治

研究責任者・研究内容の問い合わせ担当者：

東京女子医科大学　循環器内科　先進電気的心臓制御研究部門　寄附部門講師　樋口 諭
電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日 9 時～16 時）
E-mail：higuchi.satoshi@twmu.ac.jp